

事業計画書

事業名	戸田と世界の暮らしが交差する場所～文化継承と情報発信の場を創る
実施場所	沼津市戸田566-1
実施予定期間	*イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2022年 12月 1日 ～ 2023年 3月 31日

◎事業概要

*事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

戸田の地元住民と在住外国人と旅行者が互いの文化を継承し合い、情報発信をする場を創る。例えば、旅行者が戸田の農家で収穫した梅で地元住民と一緒に梅シロップを作ったり、在住外国人が地元住民に自国料理を教えたりする。また写真展などを開いて情報発信をするほか、子供たちが勉強などのために利用できる場所にする。

◎目的

*何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

2018年から移住者としてバナナジュースカフェを運営してきた中で、戸田には日本人が忘れてしまった暮らしがあると気づくとともに、人口流出で継承する人間がいないことが課題だと感じてきた。一方、戸田には人と自然に魅了されたリピーターの旅行者が多く、宿泊業で働く外国人も存在する。そこでこの二者と地元住民を結び合わせ、互いの持ち味を共有することで、文化の継承と戸田ならではの魅力発信を推進し、ひいては外からの人の誘致にも繋げる。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
2022年12月上旬	*イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 施設外観（主に屋根）および内部（主に厨房）の修繕開始 イベント内容立案、スケジュール作成
2023年1月中旬 2023年1月下旬	イベント実行準備（関係者への協力要請や計画内容の詳細決定） 修繕終了
2023年2月	イベント周知、集客
2023年3月	イベント実行

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>地元住民がこれまでは当たり前と処理してきたことの価値を再発見し、自信を持って地域の魅力を内外に発信するようになる。普通の観光だけでは知り得ない戸田の魅力を体感できることで、戸田への関心が高まり再訪に繋がる。孤立しがちな外国人住民が戸田の社会に溶け込み、愛着を持って暮らすと同時に、自国文化を紹介する喜びを見出す。これは地元住民、特に子供にとって貴重な異文化体験の機会でもあり、将来に繋がる相互理解と受容の芽となる。</p>			
<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>イベント開催：初年6回／年、2年目8回／年、3年目8回／年 参加人数：初年4人／回、2年目6人／回、3年目7人／回</p>	<p>指標の検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>イベント参加者へのアンケート 参加人数、協賛者人数</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>戸田では、地元住民と旅行者の交流を目的とした施設がない。例えば道の駅は市民サービス施設としての役割もあるが、あくまでも市民向けであり、売店は旅行者に特化したサービスになっている。例えば、野菜の生産者と旅行者が直接話をするような場所もない。さらに宿泊施設などで働いている外国人が日常生活で地元住民と交流できる機会もなく、社会に浸透できずに孤立している人たちも少なからずいると思われる。こうしたなか、私たちは英語対応が可能なので外国人も利用しやすく、地元住民、旅行者、在住外国人の三者が自由かつ平等に交流できる場所となり、公益性が高いと考える。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>戸田は少子高齢化に加え、特産品であるタカアシガニや伊勢海老、サザエなどの漁獲高も減少傾向にあり、経済を活性化させる新たな策が急務である。しかしコロナ禍が終息しない中、大量に人を呼び込むことは難しい。そこで既にある資源（地元住民、旅行者、在住外国人）を結び付けることで相乗効果が生まれ、戸田の発展と魅力発信に繋がる。</p>
<p>先導性</p>	<p>事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>移住者としてバナナジュースカフェを経営する中で、地元住民と旅行者と在住外国人の三者と出会い、独自の人的ネットワークと知見を築き上げてきた。今回、これをもとに、これまで切り離されていた三者を結びつけ、相互理解と文化の継承に繋げる点が新しい視点だと考えている。また外国との繋がりを実感しづらい戸田において、地元住民、特に子供たちが非常に身近なところで異文化を感じ体験できる場を提供することは、学習や教育の機会という面においても非常に有益であると考えている。</p>

<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>カフェを通して、戸田内外の人に施設の存在や用途を効果的に告知することができる。また観光スポットが少ない戸田において、この施設が新たなアクティビティになることを、近隣の宿泊施設などにプロモーションし、利用者を増やす。更に地元住民などイベントへの協力者たちがモチベーションを維持できるために、収益面でもウィンウィンになることを目指し、イベント参加を一部有料化するなどして持続性を保つ。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>イベント実行のための人的リソースは、カフェ経営と戸田での移住生活を通じて培ったネットワークをもとに協力を要請できる。例えば、現在、店先で地元の農家で作った農産物を販売しており、その方たちに収穫イベントや料理イベントの提案を既にしてきた。在住外国人については、戸田で働いているスリランカ人と中国人の友人と一緒に度々スリランカカレーや中華チマキなどを作っており、彼らもレシピを伝授することに高い関心を持っている。魚介の調理については、普段からお付き合いさせていただいている漁師や近隣住民だけではなく、自分たちが講師となって教えることもできる。また、旅行者の集客については、カフェの来店客からこのようなイベントへの参加希望を頻繁に受けており、店のSNSなどで告知が可能である。資金面については、現在の店の設備を生かしDIYも取り入れることで初期費用を抑えつつ、カフェ経営との相乗効果でランニングコストを抑え、持続可能なインフラにする。</p>
<p>活動に 対する 熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>戸田でカフェをオープンさせてから4年。戸田には暮らしの循環があると感じてきた。自分たちで採ったり育てたりした食材を、昔ながらの方法で調理し、分け合い大切に食べる。しかし戸田の高齢化は顕著で、思うように体が動かなくなり、漁師や農家が生業を縮小していく。当店の目の前の海に係留されていた漁船の数ももはや半数以下である。一方で、コロナ禍を機に、戸田の自然や人に魅了され足しげく通ってくる若い世代が増えている。こうした現状を目の当たりにする中で、戸田の埋もれている宝、文化・人・産業を次世代につなげなくてはならないと強く感じている。戸田で店を営み、生活をしてきた自分たちだからこそできる継承の方法であり、素晴らしい戸田を存続させる経済活性化の大きな一歩でもあると考えている。</p>